

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2017. 6. 5

下水道機構の『新技術情報』 第286号

(公財) 日本下水道新技術機構 <https://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

今日は24節季の芒種(ぼうしゅ)。芒(のぎ)のある穀物や稲や麦など穂の出る穀物の種をまく季節ということから、芒種と言われているのだそうです。ちなみに私の故郷、沖縄では、前の節気の「小満」と合わせて「スーマンボースー(小満芒種)」と呼ばれ、梅雨の季節を意味します。本州もそろそろ梅雨入りかな。

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第286号をお届けします。  
業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・「第23回下水道新技術研究発表会」を7/7(金)東京、7/12(水)大阪で開催します
- ・「下水汚泥由来肥料の安全安心性確認研究」の共同研究者を募集しています！

■機構の動き

- ・今週は、6/8(木)に技術サロンを開催します

■Tea Break

- ・30 (資源循環研究部 かつお井さんからの投稿です)

■まる子のゆいまーる♪

- ・今回のゆいまーるは「龍ヶ崎の水辺を親しむ会」吉川静雄さんからの投稿です

■下水道浸水対策ポータルサイト「アメッジ」情報

- ・今回は、「浸水データベース」について紹介します

■国からの情報

- ・6/2付下水道ホットインフォメーション

。○。○。○。

インフォメーション (最新の話です)

。○。○。○。

●「第23回下水道新技術研究発表会」を7/7(金)東京、7/12(水)大阪で開催します  
地方公共団体および民間企業と共同研究した成果等の紹介とその普及促進を目的として、公共団体および民間企業等の技術者を対象とした新技術研究発表会を開催いたします。

今回の発表会では日本大学 生産工学部 土木工学科 森田弘昭教授（東京会場）、大阪市立大学 複合先端研究機構 中尾正喜特命教授（大阪会場）、国土交通省下水道部の松原下水道事業調整官を特別ゲストとしてお招きし開催いたします。

日本大学の森田弘昭教授は、ベトナムにおける推進工法の展開について、大阪市立大学の中尾特命教授は、下水熱利用の取り組みや事例について、それぞれご講演いただきます。また、国土交通省からは下水道事業に関する最新のホットな情報として、「下水道をめぐる最近の話題」についてご講演いただきます。

当機構からは、昨年4月に発生した熊本地震の際にBCPがどのように機能したか聞き取り調査を実施し、今後の下水道BCPブラッシュアップに向けた課題整理等を行ってきました。そのほか地方自治体と勉強会方式で行った共同研究について研究第一部より報告を行います。その他、昨年度の主要研究テーマについて、研究第二部より「流出解析モデル利活用マニュアルの改定と管路の包括的民間委託促進に向けた支援の取り組み」、資源循環研究部より「下水処理場のエネルギー自立化への取り組み」と題しその成果、今後の取り組みについて報告いたします。

なお、土木学会の継続教育(CPD)プログラムにも認定されていますのでご活用下さい。

1. 開催日時(東京会場) 平成 29 年 7 月 7 日 (金) 13:00~16:45  
(大阪会場) 平成 29 年 7 月 12 日 (水) 13:00~16:45

2. 開催場所 (東京会場) 東京都港区 発明会館  
(大阪会場) 大阪市西区 大阪科学技術センター

3. 定 員 東京会場 250 名、大阪会場 120 名 各会場とも先着順です。

4. 対 象 公共団体、企業等の下水道技術者など

※プログラム、お申込みはこちら

<https://www.jiwet.or.jp/trainings/workshop/workshop-info>

●「下水汚泥由来肥料の安全安心性確認研究」の共同研究者を募集しています！

募集締め切りは平成29年6月20日(火)です。詳細はこちらをご覧ください。

→ <https://www.jiwet.or.jp/wp/wp-content/uploads/2017/05/b92072af29002fe1ff4de27423095f02.pdf>

---

機構の動き (機構の行事予定です)

。 。 ○ 。

●行 事：第 360 回技術サロン

場 所：機構 8 階 中会議室

日 時：平成 29 年 6 月 8 日(木) 16:00~17:00

ゲスト：国土交通省国土技術政策総合研究所

下水道研究部下水道研究室長 岩崎宏和 氏

テーマ：『平成 28 年熊本地震における管路施設被害の特徴と管路ストックマネジメント導入支援について』

※お申し込みは機構ホームページから

→ <https://www.jiwet.or.jp/trainings/tech-salon/salon-form>

○平成 29 年度技術マニュアル活用講習会

【東京会場】日時：平成 29 年 6 月 21 日(水) 13:30~16:30

場所：下水道機構 8 階 中会議室 (東京都新宿区水道町 3-1)

【大阪会場】日時：平成 29 年 6 月 27 日(火) 13:30~16:30

場所：大阪科学技術センター 401 号室 (大阪市西区鞆本町 1-8-4)

【参加費】

参加費(技術マニュアル・技術資料を電子化した CD)：2,000 円(ただし、地方公共団体は無料)参加費は、銀行振込でお願いいたします。振込先は WEB 申し込み時の「参加証」に記載致します。当日会場での参加費お支払いは、ご容赦願います。

【定員】東京会場 80 名、大阪会場 120 名

※先着順となります。

※詳細及び参加申し込みはこちらから

<https://www.jiwet.or.jp/trainings/manual-seminar/manual-program>

---

。○○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○○。

●30 (資源循環研究部 かつお井さんからの投稿です)

今年度で、私も残念ながら 30 歳となります。以前、「40 代になると「変える」ということが体力的にも精神的にも難しく、30 代の生き方はそのままその後の人生の生き方につながる」という文章があったことを思い出し、よりスマートな社会人となるためにやるべきことがあるのではと感じています。

そこで、「30 代からはじめること」の一つとして、「価値観の使い分け」を身につけていきたいと考えています。他人の評価や他人との比較で影響されたり、自分の価値観だけで周囲を振り回すのは 20 代までであり、30 代になれば他人の価値観を理解し、自分の価値観もしっかりと確立したうえで、場面や状況によって使い分けることを覚えなくてはならない。様々な価値観を持つ技術者と多数いる我々の業界では、必要不可欠なことです。

まだ、全然出来ていませんが、今年度はこのことを意識し、30 代として恥ずかしくない社会人として過ごせるよう精進していきます。

そんな決意をした私を温かく、甘い目で見守って頂けたら、幸いです。

---

。○○。

まる子のゆいまーる （皆様との交流の場です）

---

。○○。

●今回のゆいまーるは「龍ヶ崎の水辺を親しむ会」吉川静雄さんからの投稿です。

吉川さんありがとうございました！

→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru/2017-6-5>

!(^^)!皆さまからの情報提供をお待ちしております(^^♪

提供はこちらまで→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

※テキストは原則 400 字以内。写真等は A 4 版にして原則 2 ページ以内。

なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、  
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

---

。○○。

下水道浸水対策ポータルサイト「アメッジ」情報

---

。○○。

国土交通省では、平成 28 年度より下水道浸水対策ポータルサイト「アメッジ」を試行的に運用し、地方公共団体の職員が職場に居ながら浸水対策に係る情報を入手して技能を習得できるよう、国や各都市の取組、統計情報や雨道場の情報等を配信しています。

当機構では、国土交通省の政策支援として、アメッジにおけるコンテンツの充実化や改良を行い、浸水対策の促進を図っています。今回は、アメッジのコンテンツのうち、「統計情報」の「浸水データベース」について紹介します。

#### ●「浸水データベース」の紹介

下水道浸水対策ポータルサイト「アメッジ」では、様々なコンテンツを公開しています。今回は、そのうち、浸水実績に関する情報や降雨と浸水実績のグラフを市区町村別に作成できる「浸水データベース」について紹介します。

これから、梅雨の時期を迎えるにあたり、過去の浸水実績の傾向などが気になります。「浸水データベース」では、水害統計調査の結果に基づいて、市区町村別の過去 5 ヶ年（2010 年～2014 年）の浸水実績をグラフで確認することが出来ます。

過去の浸水状況を把握したいときには、ぜひ、「浸水データベース」を御活用下さい。

「浸水データベース」URL：[http://shinsui-portal.jp/toukei\\_top/](http://shinsui-portal.jp/toukei_top/)

なお、アメッジ内の一部コンテンツにおいて、事前登録（現時点では、国と地方公共団体が対象です。）が必要なものがあります。新規登録は、以下の URL よりお願いします。

↓コチラからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====

下水道ホットインフォメーション（2017.6.2付 国からの最新情報です）

送信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課企画専門官 堂蘭洋昭

=====

先日、スーパーでさくらんぼを見かけました。この時期、さくらんぼのおいしい季節。仙台市内に勤務していた際、お隣の山形県に「さくらんぼ狩り」に行ったことを思い出しました。九州出身の私にとって、みかん狩りの経験はありますが、さくらんぼはその時がはじめて。車窓から鈴なりに実る赤い実を初めて見たときは感動しました。摘みたてのさくらんぼのみずみずしさ、独特の酸味と甘みも記憶に残っています。佐藤錦が1時間食べ放題で、1人1,500円程度だったと思いますが、普段、高価なさくらんぼをおなかいっぱい食べられ、家族みんなで幸せな気分になりました。いつかまた行きたいものです。

県のHPによると、山形県はさくらんぼの全国シェア7割を誇るそうです。

★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆

○「下水道エネルギー・イノベーションの推進」に向けた提言が公表されました。（下水道企画課）

○第2回新下水道ビジョン加速戦略検討会を開催しました。（下水道企画課）

○下水道応用研究の公募を開始します。（下水道企画課）

○平成29年度PPP/PFI推進のための案件募集（第2次）が開始されました。（下水道企画課）

=====

○「下水道エネルギー・イノベーションの推進」に向けた提言が公表されました（下水道企画課）

5月23日に自由民主党政務調査会及び下水道・浄化槽対策特別委員会により、「下水道エネルギー・イノベーションの推進」に向けた提言が公表されました。この提言では、「新産業・経済成長戦略の牽引等のため、概ね20年での電力消費量半減の実現等、下水道における省エネ・創エネの取組を進める「下水道エネルギー・イノベーション」を推進すべきであるとされています。具体的取組として、以下の内容が挙げられています。

(1) 下水道施設のエネルギー拠点化

①下水処理場を地域のバイオマスステーションとするため、集約・再編等の広域化に向けた取組への支援を強化

②生ゴミのディスポーザーの活用による下水道への投入は、高齢化社会における住民サービスも向上させることから、集約ポテンシャルが見込まれる地域を支援

③改築更新等のタイミングにあわせた省エネ・創エネ技術の導入を促進

(2) 持続可能な下水道を実現するための省エネ・創エネによる電力消費量半減

①省エネ・創エネ技術の国内での普及により、エネルギーの地産地消を進め、電力自立可能で持続的な下水道システムを実現

②上記の技術を活用した海外への輸出拡大

(3) 民間活力の導入による下水道関連産業の成長市場化

①PFI等により民間の創意工夫を最大限に活用

②技術・研究開発及び新技術導入への支援を強化し、関連市場の活性化

(4) 下水道エネルギー・イノベーションに係わる推進体制の強化

①地方公共団体への普及啓発・人材育成

②技術・研究開発支援などの国の支援体制を強化

本文はこちらに掲載されております。

<https://www.jimin.jp/news/policy/135030.html>

○第2回新下水道ビジョン加速戦略検討会を開催しました（下水道企画課）

国土交通省は、人口減少等に伴う厳しい経営環境、執行体制の脆弱化、施設の老朽化等、社会情勢の変化の中、持続的発展が可能な社会の構築に貢献する「新下水道ビジョン」の実現加速のため、コンセッションをはじめとする官民連携、下水汚泥のエネルギー利用、本格的な海外輸出の実施など、選択と集中により5年程度で実施すべき施策を実現し、国民の生活の安定、向上につなげる「新下水道ビジョン加速戦略（仮称）」の策定に向けた検討を進めています。今般、下記の通り第2回新下水道ビジョン加速戦略検討会を開催しましたのでお知らせします。

<委員（敬称略）>

座長 佐藤 弘泰（東京大学大学院新領域創成科学研究科准教授）

浦上 拓也（近畿大学経営学部教授）

藤原 拓（高知大学教育研究部自然科学系農学部門教授）

山村 寛（中央大学理工学部人間総合理工学科准教授）

横田 明美（千葉大学大学院社会科学研究院准教授）

日時 平成29年5月26日（金）14時00分～17時00分

場所 T K P 東京駅日本橋カンファレンスセンター 別館4階 ホール4B

主な議題 ・ 住民生活の利便性等の付加価値向上

- ・ 汚水処理システムの最適化
- ・ マネジメントサイクルの確立

第2回検討会資料等は以下のURLに掲載しています。

[http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo\\_sewerage\\_tk\\_000510.html](http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000510.html)

※次回検討会は、6月29日（木）に開催予定です。

○下水道応用研究の公募を開始します。（下水道企画課）

国土交通省では、大学等によるラポレベルの研究を終え、企業等による応用化に向けた開発段階にある研究に対し、技術の発展に向けた支援を目的として、今年度より「下水道応用研究」を創設しました。

この度、以下の6テーマに関する「下水道応用研究」の公募を開始します。

- ① ICT・観測技術の活用等による低コストで効率的な雨天時下水処理技術
- ② 下水（汚水・雨水）の水質・水量等の低コストで効率的な観測技術
- ③ 食・農と連携した下水道資源の利活用のための下水処理技術（リン回収）
- ④ 食・農と連携した下水道資源の利活用のための下水処理技術（上記③以外）
- ⑤ 低コスト・省力型水処理技術
- ⑥ 処理場・ポンプ場における維持管理データを修繕・改築に効率的に活用する技術

公募期間：5月31日（水）から7月3日（月）まで

その他詳細は以下のホームページを御確認ください。

[http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo\\_sewerage\\_tk\\_000514.html](http://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_000514.html)

○平成29年度PPP/PFI推進のための案件募集（第2次）が開始されました（下水道企画課）

国土交通省総合政策局官民連携政策課では、PPP/PFIの推進のため、地方公共団体等向けの支援策として以下の2つの支援を実施しています。

（支援事業）

①先導的官民連携支援事業

→官民連携事業の導入や実施に向けた検討に要する地方公共団体等の調査委託費への助成

②地域プラットフォーム形成支援

→地域における官民連携事業の関係者間の連携強化・人材育成・官民対話等を行う産官学金で構成された地域プラットフォーム形成の支援

6月1日、平成29年度（第2次）の支援に係る案件募集を開始しました。

・募集期間：6月1日（木）から6月30日（金）まで

※募集要領や応募様式につきましては、以下のURLを御参考下さい。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo21\\_hh\\_000060.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/sogo21_hh_000060.html)

なお、H29、28年度も本支援にて、下記の自治体が採択されております。下水道に限らず、またコンセッションにも限らない支援となっておりますので先導的な官民連携事業を検討される地方公共団体におかれては積極的にご活用を検討いただければと思います。

◆H29年度

<1次募集（平成29年5月17日決定）>

須崎市（高知県）：公共下水道事業等のコンセッション等導入詳細検討調査  
（17,000千円）

柏市<千葉県>：下水道管路施設包括的民間委託（改築事業含む）に係る情報整備等支援業務（13,600千円）

◆H28年度

<1次募集（平成28年5月27日決定）>

神戸市（兵庫県）：宇治川ポンプ場（雨水）改築に係る民活導入可能性調査  
（10,000千円）

奈良市（奈良県）：小規模上下水道施設における公共施設等運営権事業に係る調査  
（13,800千円）

三浦市（神奈川県）：三浦市公共下水道事業コンセッション推進に向けた調査  
（20,000千円）

<2次募集（平成28年8月5日決定）>

須崎市（高知県）：須崎市公共下水道等運営事業に係る事業手法検討調査及び事業化支援業務（13,220千円）

=====

【参考情報】

◆ゲリラ豪雨対策にAI 水位情報 瞬時に把握、提供へ〈5/28 東京新聞〉

<http://www.tokyo-np.co.jp/article/tokyo/list/201705/CK2017052802000116.html>

◆下水道、消費電力半減を 自民特別委が提言 〈5/30 日本経済新聞〉

[http://www.nikkei.com/article/DGXLASFS30H51\\_Q7A530C1PP8000/](http://www.nikkei.com/article/DGXLASFS30H51_Q7A530C1PP8000/)

◆下水道の役割学ぶ 南あわじ・福良小児童ら 〈5/30 神戸新聞〉

<https://www.kobe-np.co.jp/news/awaji/201705/0010236608.shtml>

◆浸水被害防止に期待 八家川に排水機場完成 姫路 〈5/30 神戸新聞〉

<https://www.kobe-np.co.jp/news/himeji/201705/0010236233.shtml>

◆県内自治体で水道料金値上げ拡大 老朽、耐震化で改修費増 〈5/31 茨城新聞〉

[http://ibarakinews.jp/news/newsdetail.php?f\\_jun=14961531718707](http://ibarakinews.jp/news/newsdetail.php?f_jun=14961531718707)



---

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部  
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F  
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter/20170426/index.html>

---